書式Ｄ−１　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＊受付番号

ケース研究報告書

氏名

A　ケース研究報告

テーマ

B　認定された学術大会、研修会での発表

テーマ

C　学術雑誌等での発表

テーマ

雑誌名巻号貢等 単・共著の別 刊行年月日

D　著書

テーマ

単・共著の別 刊行年月日 発行所

A~D のいずれかを選び○をつけ、A,Bは次に続く「ケース研究」の書式を使用。C,Dは該当部分の切り抜きを提出すること。

ケース研究

 所属

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

 １．来談者

 年齢 　　　　　　　　性別 　　　　　　　　職業等

 ２．来談者による相談内容

 ３．問題（来談者の相談内容によりセラピストは何が問題だと見立てたか）

 ４．家族

 ５．インテーク時の印象（様子）

 ６．相談歴

 ７．治療構造（時間、場所、個別あるいは集団、動作法単独あるいは他技法併用、等）

 ８．動作課題

 ９．期間と回数

１０．ケースの終わり方

１１．動作法を適用してどのような効果があったか

１２．どういう問題があったか

１３．経過

１４．考察

 ＊用紙は A4 サイズを使用し、上記１．～１２．については１～２枚にまとめ、１３．～１４． では１０枚を限度にまとめることがのぞましい。